

食の安全セミナー開催

テーマ

GAPで目指そう東京五輪

GAPとは (農業生産工程管理 (GAP: Good Agricultural Practice) とは、農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に則して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のことです。)

受講無料

日時 平成29年 **5月22日** (月)
午後1時30分～3時00分

場所 小林中央公民館 会議室

定員 **40名**
(申込先着順)

小林商工会議所 農林畜産水産業部会 (部会長: 吉留高志氏) では昨年の部会開催時に要望のあった、「食の安全についての勉強会」を企画致しました。生産者・消費者を問わず食に関する残留農薬検査や栄養・機能性成分検査などを行う「一般社団法人食の安全分析センター」より安藤孝事務長様をお迎えし、貴重なお話を賜る予定です。部会主催であります。会員・非会員を問わず参加頂けます。他業種に亘り共通することありますので多数参加頂きますようご案内申し上げます。



講師

安藤 孝氏

(一般社団法人食の安全分析センター事務長)
専門分野: 分析化学

1961(昭和36)年 生まれ
1984(昭和59)年 京都大学工学部合成化学科卒業
1984(昭和59)年 宮崎県に入庁
1994(平成6)年 総合農業試験場で残留農薬の調査研究
1997(平成9)年 農薬適正使用を指導するための「宮崎方式」残留農薬迅速分析法の開発
2014(平成26)年 農業技術功労者表彰(農水省)
2015(平成27)年 大阪大学、神戸大学、島津製作所と共同で次世代分析装置SFE-SFC-MSを開発
2016(平成28)年 農業や食品工業の振興に寄与し、地方に分析産業を興すべく設立された一般社団法人 食の安全分析センターに派遣現在に至る

センターの紹介

一般社団法人食の安全分析センターは、2015年10月に、宮崎県と(株)島津製作所により設立されました。2016年10月には、分析技術に関する国際認証ISO/IEC 17025の認定を受けました。世界最速の分析装置による残留農薬受託検査を主な事業として、食品の機能性成分の含有量調査も行っています。今後、食品の安全性・機能性・嗜好性に関する共同研究にも取り組んでいく予定です。

主催: 小林商工会議所 農林畜産水産業部会

----- **参加申込** ※下記参加申込書を FAX 送信して下さい。 -----

【小林商工会議所 総務課: FAX 22-7667】

事業所名			
出席者名			
TEL		FAX	

※本申込書にご記入頂いた個人情報につきましては、本人確認、参加者申込書作成及び連絡のみに使用致します。